

ニカラグアを憂いている君へ その3

ニカラグアは良い国、良いところ

「ゆたかな貧しさ」の国

ニカラグアは貧しい国ですが、ニカラグアの貧しい人々と他の中米やメキシコの貧しい人々との間には大きな違いがあります。

* ニカラグア人が食べるトルティーヤは国内で生産されており、遺伝子組み換え作物は含まれていません。人口の主食(米、とうもろこし、豆、肉、乳製品)の90%はニカラグア産です。これはラテンアメリカの国々の中でとびきりユニークです。

* 2006年に電気を利用できたニカラグア人は約半数でした。15年後の今日では、99%以上がそうしています。

以前は電気と水が不足していて、毎日長い停電がありました。今日、サービスの品質は非常に優れています。それだけでなく、貧しい人々や年金生活者が利用できるよう多額の助成を受けています。

マナグアのバス料金は、サンディニスタが2007年に政権を握って以来、上昇しておらず、まだ2.50コルドバ(約US\$00.07セント)しかかかりません。

そして、今日のバスは、裸のガソリンタンクを積んだ14年前の黄色いスクールバスとは比べ物になりません。(molotov-cocktails-on-wheels is a mobile with a rag hanging out of the fuel tank)

⇒Molotov cocktail on wheels!!



* 貧しい人はたくさんいますが、政府は貧困から抜け出すためにできる限りのことをしています。

ほぼすべての子供が学校に通っています。すべての学童は温かい給食をとります。

FAO とユニセフはそれを高く評価しています。(ラテンアメリカではいつもユニセフや WHO と人権組織との評価の乖離に出会う。だから米国はユニセフを嫌うのだろう)

これらの子供たちは、ニカラグア製の制服や教科書も受け取ります。

* サンディニスタは 14 の新しい病院を建設しました。

現在 7 つが建築中で、今後数年でさらに 7 つが建築される予定です。すべての病院は高度な技術を使用しています。

経済規模は小さいけれども、ニカラグアは今日、中央アメリカで最も強力な公衆衛生システムを持っています。

ニカラグアは現在、胎児に対して子宮内手術を行っています。

ニカラグアは放射線治療装置を備えているため、癌患者をコスタリカに送る必要はありません。

人々は 1 セントも払わずにこれらの医療サービスを受けられます。

-ニカラグアの経済規模は中米最小ですが、この国では、資源が少ないにもかかわらず、強制的な措置を取らずに、他の国よりもはるかに多くのことを行っています。

どうして？

そうです、国民は金持ちになるためではなく、社会に奉仕するために働きます。社会を踏み台にして生きることはしません。

毎年毎年、予算の 95% 以上を体系的に振り当て、どうやってもネコババはできません。

それは不可能です。

なぜならサンディニスタが、土地所有権を都市部と農村部を問わず、すべて国民に分配したからです。

草の根の人々は現在、すべての事業の 80% を支配しており、国内総生産の 50% 以上を生産し、国の可処分所得の 60% 以上を支配しています。

寡頭制はもはやニカラグアの経済を支配していません。彼らはずっと前に国の生産の担い主であることをやめました。

今、彼らはニカラグアの人々に明らかにしています。彼らの目的は国を破壊することであると。

だから彼らが法的な裁きに直面することは、公正かどうかというレベル以上のものです。

ということで、我が友よ。

僕は君が新自由主義政府の下でニカラグアを助けるためにしたことを覚えています。
それ以来、君はニカラグアに戻っていません。

しかし、ニカラグアが 1990 年代または 2000 年代初頭の状態に戻ってほしいと思っているのなら、とても信じられません。

* あの頃子供たちが観光客に言った言葉は「1ドルお恵みください」だけだった。そんなニカラグアはもう昔のことです。

* 路上に接着剤を吸い込む子供たちがいたニカラグアは過去のものでした。

* 子供たちが授業を受けるのに、自分の椅子を学校に運ばなければならなかったニカラグアは、もう昔のことです。

* 病院には注射器も、薬も、手術用の糸もなかった。そんなニカラグアは、25 歳以上の人だけの色褪せた記憶です。

* 穴ぼこだらけで、道路が月の景色のように見えたニカラグアはもう存在しません。ニカラグアは今日、中央アメリカで最高の道路網を持っています。

* ニカラグアはいまや若者の未来にあふれた国になっています。

メキシコを横断して米国に到達する数百万人の中米の人たちの中に、ニカラグアがほとんど見当たらなかったでしょう。

* 今日のニカラグアでは、他の国のように水道、電気、電話、年金、学校などの民営化と戦う必要はありません。

これらはすべて重要な国民の基本権として尊重されているからです。

最後に 君へのお願い

ニカラグアに過去の亡霊を戻してほしい、という君の思いは、とても信じられません。

君は国を破壊したい人々から、ひどく間違った考えを吹き込まれていると思います。

2018 年、僕と仲間たちはスウェーデンで広まっていたニカラグアに関するデマを打ち消すキャンペーンを開始しました。その直後に僕は 5 回も殺害の脅迫を受けました。

さっき言ったように、僕は自由に動き回っています。僕は車を持っていません、だから一日中いつでも歩いて行き来します。

ニカラグアの人々は、ほかの中米諸国のように憎しみの感情がないので、僕には何も起こりません。

2018 年 4 月の失敗したクーデターは、報道されてような先住民の行動ではありません。それは植民地勢力によって計画され、実行されたのです。

それは、1856 年にウィリアム・ウォーカーが起こした戦争と同じです。アメリカ人「冒険家」ウォーカーは、「民主主義」の名の下にニカラグアに侵略し、ニカラグアに奴隷制を課しました。

植民地勢力は、1930年代には使用人ソモサを送り込み、独裁者に仕立て上げました。1980年代にはコントラを組織し、資金を提供し、訓練しました。

11月7日、ニカラグアの人々は選挙をする

ニカラグアが「見せかけの独立」をはたしたあと、大地主たちのあいだで「誰が国を略奪し、どの外国人に売り払うか」をめぐって争いました。それは200年続き、やっとサンディニスタの勝利によって終わりました。

もうそういう時代に戻りたくはありません。だから圧倒的多数がFSLNに投票するでしょう。

さて、これを読んで気が変わりましたか？

そのときは、世界正義同盟の公開書簡、「米国のニカラグアへの内政干渉を終結させるよう求める」を読んで署名してください。